

感染症発生状況

令和元年 11 月 29 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年11月18日（月）～11月22日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】394名 【職員】11名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】78名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数77名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：**熱（219名）**、咳・鼻水（63名）、下痢・腹痛（40名）、嘔気・嘔吐（13名）

疾病別：**溶連菌感染症（17名）**、気管支炎・肺炎（10名）、水痘（6名）、流行性角結膜炎（3名）

【職員】症状：熱（2名）、下痢・腹痛（3名）

疾病別：インフルエンザ（5名）

インフルエンザは小康状態です。溶連菌感染が少しみられます。かぜでの欠席が多いです。職員にもインフルエンザがみられるのでワクチン接種をしましょう。

【症状別の発生状況】

溶連菌感染症 盛南地域で減少。厨川、河北、河南、都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山、河南、都南地域で減少。河北地域で増加しました。

水痘 河北、都南地域で減少。厨川地域で増加しました。

流行性角結膜炎 都南地域で増加しました。

【県の状況（11/11～11/17）】

感染性胃腸炎は、前週より増加し、盛岡市では定点あたり患者数10人を超えています。例年、年末にかけて大きく流行するので、今後さらに感染予防対策が必要となります。予防には、せっけんと流水による手洗い、患者の吐物や便の塩素系薬剤を用いた適切な処理が重要です。

インフルエンザは、盛岡市と県央地区を中心に増加しました。今シーズンこれまでに報告された患者は、中学生以下が7割を占めており、学校等休業措置も23件報告されています（昨シーズン同時期2件）。ワクチンの効果が現れるには2週間程度かかるので、早めの接種が勧められます。予防には帰宅後等の手洗いと、症状がある場合はマスクをするなどして周囲への感染を防ぐことが重要です。

溶連菌咽頭炎は、盛岡市、釜石及び二戸地区で報告が多くなっています。例年、冬季に流行するので、手洗いやうがいの励行、患者との濃厚接触を避ける等の予防策が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】